

## 『イエスとともにいた』(使徒の働き 4章 1-14節) 2023.6.25.

<はじめに> 「神が私たちとともにおられる」と実感し、証しする人がいます。この箇所では、周囲の人が「イエスとともにいる」(13)と分かり、気付くことが描かれています。どのようにしてイエスのことがその人から周りへと伝わっていくのでしょうか。

### I 奇跡と証しへの反応(1-7)

#### ①大勢が信じた(5)

足の不自由な人が立ち上がり歩き、踊りながら神を賛美する姿は、人々に衝撃を与えました。この奇跡が、神が遣わされた救い主(キリスト)なるイエスの御名によるものだと証しするペテロのことばに促され、悔い改めてイエスをキリストと信じる者が大勢起こされました。

#### ②苛立つ人たちも(1-2)

ペテロとヨハネの奇跡と証しを好意的に受け留められない人たちもいました。祭司たち、宮の守衛長は、大勢の人だかりは宮の秩序を乱していると見なします。死者の復活を信じないサドカイ人たちにとって、彼らが宣べ伝えるイエスの復活は決して容認できません。

#### ③逮捕から審問へ(3,5-7)

そこで彼らは、ペテロとヨハネを逮捕拘留します。翌日、民の指導者、長老たち、律法学者たちが集まり、この二人に「何の権威によって、だれの名によってあのようなことをしたのか」と審問します。イエスが前もって告げておられた状況です(ルカ 12:11-12)。

### II 弁明で伝わったこと(8-13)

#### ①大胆さ

逮捕拘留されて、尋問を受けると、普通なら怯えて身構えます。高名な権力者たちを前にしたら怖気付きます。しかし彼らは大胆に証します。足の不自由な人が癒されたのは良いわざであり、自分たちではなく神がなされたことだからです。

#### ②無学な普通の人

学者・指導者は誰に師事して来たかを誇ります。二人が挙げたのはイエス・キリストの名で、彼らが認めない十字架刑に処した者です。しかも、神が彼を死者の中からよみがえらせたと言語のです。しかし、彼らにはこれを否定もできません。

#### ③イエスとともにいた

11節は詩篇 118:22 の引用で、十字架前に祭司長・長老たちはイエスから聞いていました(ルカ 20:17-19)。二人が率直大胆に語る姿に、イエスとそのことばを思い起こしたのです。二人を通してイエスへと目を向けさせたのは、聖霊です(8、ヨハネ 15:26-27)。

### III 弁明の態度

#### ①ペテロの表情・口調は？

この弁明の際のペテロの表情・口調を想像してください。二人は取り囲む人々をどのように見ているでしょう。対決姿勢で攻撃的でしょうか。それとも誤解を解こうと冷静に語り掛けているでしょうか。

#### ②皆さんも知っていただきたい(10)

「あなたがたが十字架につけ」と語るペテロは、彼らを糾弾してはなりません。彼自身もイエスを見捨てた者ですが、よみがえられた主によって赦されました。彼がイエスを語る時には、自分も赦していただいたという深い自覚が伴っていたはずです。

#### ③確信に満ちて(12)

人々が十字架につけたイエスを、神はよみがえらせてキリスト(救い主)とされました。ペテロもイエスによって赦され、救われたから、確信に満ちて証します。癒された人ともに立って証しています。だれがこれらの証言を覆せるでしょう。

<おわりに> 神は、私たちに救われるただ一つの道を提供されています。今もイエスの御名は信じる者に力と救いをもたらします。また、イエスを信じる者を通して、今の世界にイエスがおられることを示そうと、一人ひとりのうちに聖霊を臨ませてくださっています。(H.M.)